



名作
化粧の窓
夕鶴
山本安英 滝澤 修
関西実験劇場
久遠山 出
山本安英



築地

15日 1時・5時
ロミオ 岩田直二 演出 土角
あつた 楠がはる
ロミオ 岩田直二 演出 土角
あつた 楠がはる
ロミオ 岩田直二 演出 土角
あつた 楠がはる

指 会 館 日
E 24

美術と文芸シリーズ

十河巖がつくる 文化の庭

—戦後の大阪朝日会館とアートプロデュース—

2025.
10.20 月 ▶ 12.13 土

関西学院大学博物館（西宮上ヶ原キャンパス時計台）〈入館無料〉
（阪急今津線「甲東園」駅もしくは「仁川」駅より徒歩15分、または「甲東園」駅より阪急バス5分「関西学院前」下車）
開館時間：午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）
※11月23日回のみ午前10時00分～17時00分（入館は午後4時30分まで）
休 館 日：日曜日（ただし11月16日回、11月23日回は開館）
後 援：朝日新聞神戸総局、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団、
公益社団法人大阪フィルハーモニー協会、西宮市


関西学院大学博物館
〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155
TEL 0798-54-6054
<https://www.kwansei.ac.jp/museum>



《アメリカ博記念》 川西英 1950年か



ポスター『夕鶴』『三角帽子』 朝日新聞文化事業団
1951年11月16日～11月18日



《魚とレモン》 吉原治良 1928年頃



《消え去った朝日会館》 十河 1951年か



朝比奈隆と十河 1940年代後半

美術と文芸シリーズ

十河巖がつくる 文化の庭

—戦後の大阪朝日会館とアートプロデュース—

創立から戦前期までの関西学院で青春時代をすごした作家たちを見つめる企画展「美術と文芸シリーズ」の第3弾となる本展では、大阪朝日会館の館長として戦後関西の芸術文化に貢献し、自身も絵や詩などの創作活動をおこなった十河巖(1904-1982)についてご紹介します。

朝日新聞社を運営母体とする大阪朝日会館は、中之島に1926年から1962年まであった総合文化施設です。十河は社会部の新聞記者を経て1946年9月から約6年半、同館の館長を務め、阪神間で活動していた学院出身の作家をはじめとする自身の人脈を活かした多彩な企画を催しました。また、関西交響楽団(現・大阪フィルハーモニー交響楽団)や勤労者音楽協議会(のちの大阪労音、現・大阪新音)の設立支援、日本を代表するオペラ作品となる《夕鶴》のプロデュースなど、文化活動の推進者として活躍しました。

「文化の殿堂」と呼ばれた大阪朝日会館について、十河は自身の詩作で「文化の庭」と表しています。その言葉からは、学生や勤労者など一般民衆が芸術に親しめる場所を作ろうとした思いがうかがえます。本展では画家の肩書きを持つ十河自身の創作活動にも触れながら、公演ポスターや写真資料などから彼が手がけた芸術文化事業の足跡をたどります。

表面画像左上より右に(すべて部分): 十河巖油絵展 会場 1954年、《快い抵抗》十河巖 1975年頃、関西学院60周年記念講演会プログラム 1949年、日響演奏会の夜 大阪朝日会館外観 1946年、年賀状 十河巖 1964年、ポスター『窓の化粧』『夕鶴』 1949年(撮影: 深井純)、大阪朝日会館での十河巖 1953年、ピアノ協奏曲の夕 舞台風景 1942年(所蔵: 公益社団法人大阪フィルハーモニー協会)、『思ひ出はなつかし』十河巖 1952年、スイング・オペレッタの夕 舞台風景 1949年、チラシ『ロミオとジュリエット』 1948年、ポスター『十二月』『小暴君』 1933年、《神の相貌》十河巖 1955～1958年、大阪朝日会館 チケット 1958年、ポスター『あゝ荒野』 1949年、《カルメン》舞台風景 1950年、『ホテルの四季』第3号 1969年

企画展開催記念講演会

申込不要、
参加費無料

「十河巖と朝比奈隆

—協同の場としての朝日会館、そしてその外へ—

講師: 小味渕 彦之 氏

(同志社女子大学准教授、豊中市立文化芸術センター総合館長)

日時: 11月6日(木)13:20～15:00

会場: 大学図書館ホール(西宮上ヶ原キャンパス)

企画展開催記念イベント

申込不要、
参加費無料

「ALL KWANSEI ORCHESTRA 秋の中央講堂コンサート」

主催: 関西学院交響楽団、関西学院交響楽団 OB 会

演奏: ALL KWANSEI ORCHESTRA

後援: 関西学院大学博物館

講師: 小味渕 彦之 氏

(同志社女子大学准教授、豊中市立文化芸術センター総合館長)

日時: 11月23日(日)14:00開演

会場: 中央講堂(西宮上ヶ原キャンパス)

交響楽団の定例コンサート内で、十河と関わりがあった大澤壽人作曲の《路地よりの断章》(抜粋)を解説付きで演奏していただきます。

※当日は開館時間を 10:00～17:00(入館は 16:30 まで)に変更します。

◇休館日

日曜日(ただし11月16日(日)、11月23日(日)は開館)

※詳しいスケジュールは、関西学院大学博物館
ウェブサイトでお知らせしています。

◇開館時間

9:30～16:30(入館は16:00まで)

11月23日(日)のみ10:00～17:00(入館は16:30まで)

◇入館無料

◇交通案内

電車 阪急電鉄「甲東園」駅または「仁川」駅下車 徒歩約15分

バス ・阪急電鉄「甲東園」駅から約5分「関西学院前」下車

・JR「西宮」駅から約20分「関西学院前」下車



時計台内部の

アイアンワーク復元プロジェクト実施中!

【関連イベント開催】※申込不要、参加費無料、

「時計台の装飾をめぐる15分」

アイアンワーク復元プロジェクトの一環として、学芸員が時計台に見られるさまざまな装飾を通して建物の歴史についてご紹介します。

日時

2025年10月28日(火)、11月18日(火)、

12月9日(火)いずれも 13:00～13:15

*1階ロビーに集合してください。



詳細はこちら



関西学院大学博物館

〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155

TEL 0798-54-6054

<https://www.kwansei.ac.jp/museum>